

## JBC 東京試合役員会会議(ZOOM 使用によるリモート会議) 【議事録】

～全国拡大開催～

2023 年 2 月 5 日 (月)

東京 19 : 45～20 : 00 (東京地区会計報告) = 東京試合役員会のみ

全国 20 : 00～21 : 07 (通常議事) = 事務局、全国試合役員会

= 以下、敬称略 =

- ・ 主催 : 中村 (東京試合役員会・会長)
- ・ 議長 : 飯田 (東京試合役員会・副会長)
- ・ 書記(ZOOM ホスト) : 須藤 (東京試合役員会・会計)

・ 出席者

JBC 事務局【本部】安河内、成富、松原 【関西】坂本、田中敬

(以下、氏名は五十音順)

【東京試合役員会】浅尾、飯田、岩本、岡庭、小野、片山、篠崎、杉山、須藤、高橋、田畑、寺山、中村、野中、蜂須賀、マーチン、藪亀、吉田 (18 名)

【中部試合役員会】加藤、清水、村瀬 (3 名)

【関西試合役員会】池原、今村、植村、田中新、田中優、西川、室矢 (7 名)

【西部試合役員会】荒巻、岩崎、大谷、大藤、恵良、棚町、富永、野田、姫野、古田、福本 (11 名)

(総合計 44 名)

### ◆19 : 45 開始

- ・ 議事開始宣言〔飯田副会長 = 議長〕
- ・ 開会挨拶、および本日の会議主旨説明〔中村会長〕
- ・ 2022 年度・会計決算報告〔会計 : 須藤〕

須藤から決算書類を画面共有しながら説明、解説、補足

続いて、中村会長から監査指名した田畑氏の承認申請～満場一致を以って承認

- ・ 同 会計監査報告〔会計監査 : 田畑〕

以上により、2022 年度の会計決算が承認されて、2023 年度に引き継がれた。(会計は須藤が継続)

・ 飯田副会長から今年度の予算内でアウター (ジャンパー) の新調の提案について (昨年末から役員会グループ LINE で意見聴取していたもの) 公式に確認し、承認された。複数 (2～3 社予定) の企業・メーカーからの提案、金額提示 (デザイン、相見積) を受けて、検討、選出する予定とした。

◆20：00 全国拡大開始

議事開始宣言〔飯田副会長＝議長〕

- ・開会挨拶、および本日の会議主旨説明〔中村会長〕

◇事務局より連絡事項等

- ・安河内本部事務局長より役員会議への参加挨拶

- ・〔松原局員より〕

（コロナ関連）

◎後楽園ホールの興行に関して

旧「6 試合以上で5F 展示会場も使用」から

新「9 試合以上で5F 展示会場も使用」に変更

4F 控室がこれまでより混雑する見込みとなる。

◎同、2月からの予定だった“記者席がリングサイドへの復帰”する案件が、3月からに延期予定（さらに記者クラブ内の調整状況による）

◎同、2月からマスク着用を条件に“声援”可能の変更となった（既に案内済）

- ・〔坂本関西事務局長より〕 関西は各地開催場による管理であるので、都度確認となる。

◇試合検証～事前配布画像の視聴による（中村・飯田）

※画像共有（PowerPointにて、画像・チャートを使用した視覚確認で進行）

事前に配信共有していた動画の検証結果の確認。

各自からの意見を集約、協議。以下について共有事項とした。

・ゴング後の加撃

①防止、②対処、③心構え、この3点を意識する。

特に対処として⇒「タイム」を宣言（円滑運営）、双方をニュートラルコーナーでの待機・休憩（公平性）、ドクターチェック（安全管理）、ハウレンソウ（報告・“連携”・相談）を必須事項とした。

・ゴング直後のダウン

クリーンヒット(原因)⇒(経過時間)⇒ノックダウン(結果)

原因から結果までの経過時間(ディレードダウン)、それぞれの関係性も整理して解析した。

各役員の見解も聴取、宣告を即時に訂正する判断、ダメージが浅いか深いかの違うケース等、今後の想定題材として協議した。

・マウスピースの落下と再装着

安全性は大前提である。

試合の流れに影響を生まない公平性。

故意性(吐き出す、時間稼ぎは反則である認識)の有無。

※海外の注目試合でも実際に発生している論議を呼ぶ事例あり。

・ストップ判断とその後

止めるタイミング、休ませ方、ドクターの呼び方、これも今後の想定題材として共有した。  
以上についてそれぞれ、安河内本部事務局長、坂本関西事務局長からも確認し、共有事項とした。

◇その他

〔安河内本部事務局長より〕 “ビデオ裁定の導入の今後の可能性”についての補足情報。

〔成富本部事務局長より〕 試合役員の協力無くして興行は成り立たない。今後とも引き続き意見提示、協力をお願いしたい。(閉会の挨拶に代えて)

◆21：06 閉会挨拶（中村）

(21：07 終了)

以上

(次回会議の予定は別途連絡)